



塀に変化をつけてセミクローズな外観に  
Y様邸

防犯も考えてクローズなエクステリアと電気錠を、という施主様の希望に沿いながらも、閉鎖的になりすぎないように工夫し、木の塀や穴あきブロックでライトな感覚をもたせたエクステリア。塀はとこるところオープンにするなどデザインに変化をつけ、内側に坪庭をつくる遊び心も。



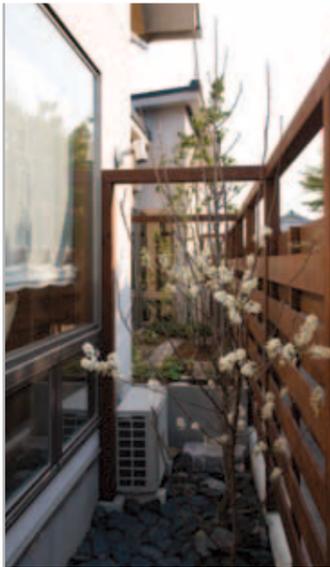
【コーナー部分の工夫】  
角を落として木を植え、軽快な雰囲気。塀のブロックは穴あき仕様のものを使い、さらにコーナー部分にスリットを入れています。視線を遮りすぎないほうが、防犯にも効果的。



【エクステリア全景】  
左側はタイル、右側は木製の塀で変化つけた外観。コーナー部分をオープンにしたことで、閉鎖感のない親しみやすいエクステリアになりました。



【木製の塀】  
長い木製の塀は、両端がオープンになっていて、そこに木が植えられ、やさしい雰囲気をつくっています。



【坪庭】  
木製の塀の内側には坪庭がつけられ、風呂場から楽しめるようになっています。

## 事例ノート. CASE2

愛知県知立市  
株式会社ハウジングセンターミウラ 様

**ダンプも重機も保有、  
自社施工で中間マージンなし！  
「元旦も営業」の熱意が、  
紹介3割・リピート4割に結実**

27年前、ミシンの営業マンだった私と、左官の仕事をしていた弟と一緒に外構工事の会社を始めました。一戸一戸まわって門や塀などの仕事を受けた時期を経て、やがて住宅メーカーからの紹介がメインに。しかし下請けでは、見積もってもなかなか決まらなかったり、価格が高くなってしまいうなど不都合が多かったため、エンドユーザーのお客様との商売に力を入れてきました。

ひとつは宣伝活動。何年も前から継続して、月に1回、新聞折り込みチラシや新聞広告を打って、集客をはかっています。

当社ではダンプカー7台、重機6台を保有して、自社施工しています。そのため中間マージンがなく、安くても質のいい工事をロスなく行えるのが強みです。

スタッフは、営業が10名、設計が4名。営業は、「お客様からご希望を聞く→設計スタッフと相談しながらプランを練り上げてご提案→契約→施工の現場管理→引き渡し」まで、すべて同じ人間が一貫して担当。そのため、スムーズに事が進み、お客様も安心しますね。

もうひとつ、当社の営業時間は8時半～19時で年中無休、元旦も営業しています。これは「お客様が休みの日こそが、うちの商売の日」と考えているからです。職人さんは朝7時には来るので、私自身も6時半には出勤。そして、来店されるお客様のどんな小さなご相談にも乗るようにしています。

その甲斐あってか、現在ではエンドユーザーのお客様が8割に達し、中でもリピーターが4割という高率です。お客様からのご紹介も3割ほどあるのがうれしいですね。

現在、来店客数は月130組。実績は月140件ほどです。

アフターサービスは、現場の近くなら寄ってご挨拶したり、カレンダーも私1人で300本は配っています。「一度いらしていただいたらもう家族」をモットーに、今後も長いお付き合いをしていきたいと思っています。



代表取締役・三浦正太郎様と奥様。

### トコトンお客様のための提案を!



社長の右腕として活躍される  
営業・可児一様。

お客様との話し合いで心がけているのは、とにかくよくよくお話を聞いて、何を望んでおられるかを引き出すこと。それとともに、プロとして、施工上できることとできないことなどはきちんと話し、納得していただくようにしています。

また、使い勝手や動線など、使う身になったアドバイスは、できるだけ細かくするようにしています。たとえば「掃き出し窓にステップをつけると、洗濯物の出し入れが楽になりますよ」とか…。それによって予算オーバーする場合でも、あとあと便利で快適だと思ったら、やっぱりおすすめしますね。

今後も、お客様に信頼していただける提案をしていきたいと思っています。



宣伝活動は、折り込みチラシや新聞広告で。「自社施工で余計なマージンなし!」と広告にハッキリ表示。これも長年の実績と自信のあらわれです。



打ち合わせテーブルのすぐ脇にはキッズルームを設けたので、小さなお客様連れのお客様もじっくりと相談ができます。



ダンプカー7台、重機6台を自社保有。なので工事日程も立てやすく、施工もスムーズ&スピーディです。

## カラフル&リズムカルな柱で楽しげに O様(店舗)

店舗の仕事も増えてきています。これは住宅メーカーのショールームのエクステリア。建物のV字の柱を生かし、黄色い柱と透明な緑色の柱をリズムカルに立て、明るくポップな外観を演出して人目を引きつけ、集客をはかっています。



【エクステリア外観】  
カラフルな黄色と緑の柱が印象的なショールームに。この柱は、人目を引かせるだけでなく、さりげなく道からの視線を遮る役目も果たしています。



【立水柱】  
この会社で扱っている立水柱。お客様の参考になるように、おしゃれに並べてデザインパターンを見せています。



【柱の内側】  
床の部分は砂利や砂を敷き、部分的に穴あきブロックを埋め込んでデザインのアクセントに。手前の細い棒状のものは、先端にLEDがついていて、夜は楽しい照明に。